

条幅部自由参考

9月25日正午必着

明石春浦先生書



雨宮春聲先生書



健康は幸福の母である。

9月25日正午必着



明石幸子書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

修竹含清景（張九齡）

修竹清景を含む

星河不動天如水
風露無聲月滿樓（陳安）

星河動かず天水の如し。
風露声無く月楼に満つ。

南溪別業

岑参

結宇依青嶂
樹交花兩色

開軒對翠疇

一

竹徑春來掃
蘭樽夜不收

鼓腹醉中游

逍遙自得意

遠き樹の上なる雲とわが胸とたまたまあひぬ

逍遙して自意を得

鼓腹して酔中に遊ぶ

遠き樹の上なる雲とわが胸とたまたまあひぬ

静かなる日や

（尾上柴舟）

朝飲木蘭之墜露兮、夕餐秋菊之落英（楚辭・離騷）

朝には香高い木蘭のしたたる露をのみ、夕には秋菊の散り落ちる花びらをくらう。

幹の長くのびたる竹林がきよらかな影をなげている。

天空は水の如く澄んで天の川は動かず、そよ風に音もな
く露おちて、月光は高樓に満ちている。

南溪別業（岑参）

南溪の別業を含む

星河不動天如水

風露無聲月滿樓

星河動かず天水の如し。
風露声無く月楼に満つ。

結宇依青嶂
樹交花兩色

開軒對翠疇

宇を結びて青嶂に依り軒を開きて翠疇に対す

竹徑春來掃
蘭樽夜不收

竹徑春來掃
蘭樽夜不收

竹徑春來掃
蘭樽夜不收

逍遙自得意

逍遙して自意を得

逍遙して自意を得

鼓腹して酔中に遊ぶ

半紙部規定課題A

9月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

9月25日正午必着

行書

隸書

明石春浦先生書

送韓司直

皇甫冉

游吳還適越

來往任風波

其如芳草何

山明殘雪在

潮滿夕陽多

季子留遺廟

停舟試一過

韓司直を送る

皇甫冉

ごに遊び
還また越に適き

らいおう
ふびはまか

往来風波に任す

復た王孫を送り去る

そほうそん
いから

山明らかにして

潮満ちて夕陽多し

其れ芳草を如何せん

やまあき
ほうそう
いかん

季子遺廟を留む

ふね
とど
こころ

舟を停めて試みに一たび過

らんことを

(出典)
朝日新聞社刊
『三体詩』下より



吳の地を遊歴し 更に越の地方に行き ただ風まかせ 波まかせに往来する
またも貴方をお送りするのですが 春の草の茂るのをどうすればよいのでしょうか
山の頂は明るく まだ雪が残り 潮は満ちて いっぱいに夕陽の日ざし
いまものくる季子の祠廟 舟をとめて ちょっと立ち寄られるよう

草書

行草書

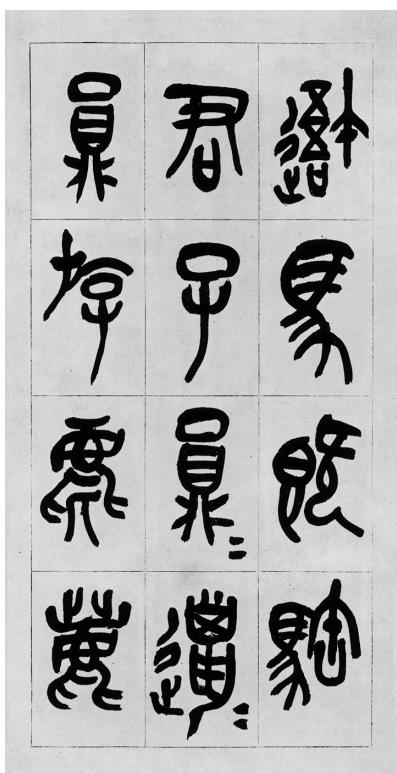
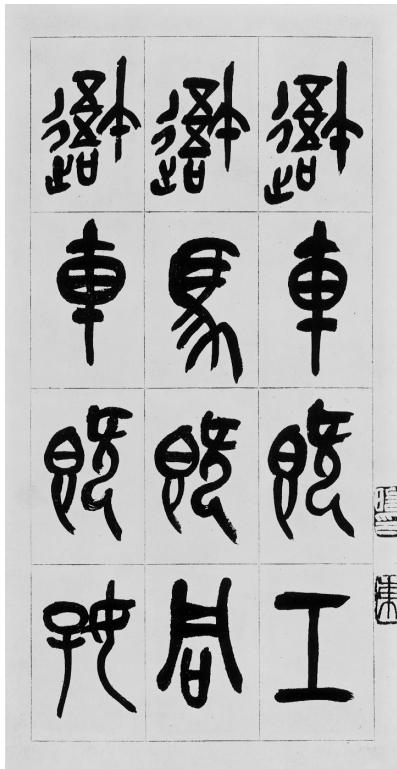
9月25日正午必着

臨書課題・半紙部参考



三浦士岳先生臨書

吾車既工 吾馬既同 吾車既好 吾馬既驕 君子貞遜 員遜員旂 麋鹿（速ミ）



吳昌碩は一八四四年（道光二十四年）に、浙江省安吉県鄣吳村の挙人の家に生まれ、一九二七年（中華民國十六年）十一月、号は缶廬、苦铁、石人子など数多い。彼ははじめ父の辛甲から教育を受け、十歳の頃には隣村の私塾に通い学んだ。十七歳の時、太平天国の乱によつて一家は離散、上海の寓居で卒した。名は俊、俊卿、字は昌碩、蒼石、倉石、當時よく故郷へ戻つた。二十二歳の時、試験を受け、「秀才」の資格をとつたが、官界にはあまり興味をもたなかつたといふ。二十九歳のとき故郷を出て、杭州・蘇州・上海に遊学し、多く文人から影響を受けた。詩・書・画・篆刻とともに精通し、「四絕」と称賛され、清代最後の文人といわれた。

石鼓文は中國最古の石刻で、太鼓状の石に刻されているので、この名がある。高さ約九〇センチ、直徑六〇センチほどで、全十石から成る。小篆と古文の両面を備えており、吳昌碩の臨書は原本の石鼓文よりさらに縦長になつていて、特に脚部にそれを見ることが多い、小篆に近い姿になつていて、とはいわわれておらず、原本と比較しながらの臨書も重要な臨書姿勢ではないか。この臨書は七十五歳のもので、技術的に完成した傑作といわれる。

春濤



端

虛

(莊子)

正しくて邪念がない。

△做書参考作品▽ ※この祝文での臨書部門の出品は出来ません。



9月25日正午必着

教 育 部 毛 筆



休
きゅう

暇
か

中学一年



情
じょう

熱
ねつ

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



かい
回

てん
転

小学五年

榎戸 春龍先生書



よう
洋

がく
楽

小学六年

藤井良泰先生書

9月25日正午必着



川

魚

小学三年

藤田幸春先生書



馬

具

小学四年

細谷春誠先生書



明石幸子書

へ

ひ

小学一年・幼年



森戸春濤書

ゆう
夕

ひ
日

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

9月25日正午必着

教育部 硬筆

ペン字部

何にもまけぬ意志
をもつて行動する

雲の切れ間からま
るい月が顔を出す

友だちから手紙を
心待ちにしている

上には小舟も見える
夕暮れの波

旅人の袖吹きかへす
秋かぜに夕日さびしき
山のかけはし（藤原定家）
タロウ

小学五年

小学六年

中 学

一般(級位)

一般(段位)

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

しゃねま
ほんだと
まんだ

幼年

みをりす
あが
つ
めき
るの

小学一年

子木
どものぼ
ものぱりを
シする
ダる

小学二年

て土地
やさしい
をたか
いを作
らし

小学三年

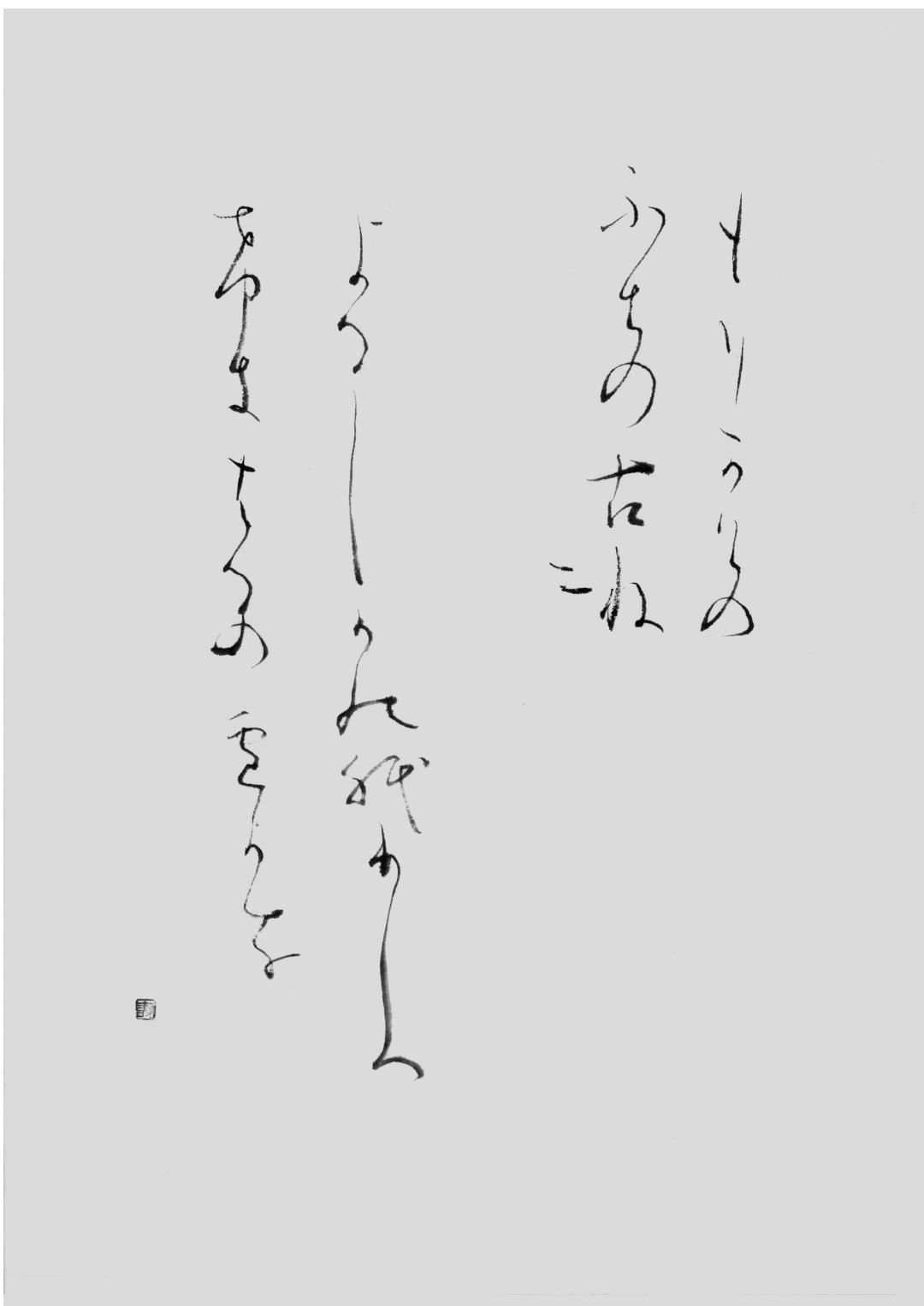
アフリカ象は水を
求めて旅をする

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

9月25日正午必着



若本景楓先生書